



ガイドブックの紹介

沖縄から考える いのちとくらし



なぜ今沖縄か

4月に安全保障関連法が施行され、7月には参院選が行われます。その結果によっては、憲法が改正されるかもしれないという危機的状況にあります。これらのことは沖縄と深く関わっています。

「日本カトリック正義と平和協議会」は沖縄について学び、考え、行動するよう呼びかけています。それに応えてシナピスではこの度、沖縄について考えるガイドブックを作りました。

「沖縄県にのみ負担を強いる今の日米安全保障体制は正常といえるのか。国民の皆様すべてに問いかけたい」

「自分たちが置かれている場で沖縄のことを考えてください」

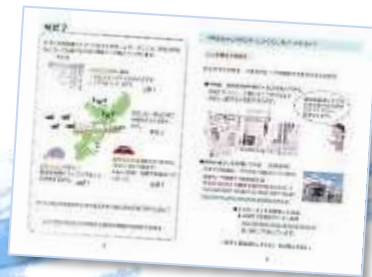
これは翁長雄志沖縄県知事とカトリック那覇教区押川壽夫司教から、本土の私たちに投げかけられている言葉です。



それぞれの関心ある入り口から



沖縄についてのイメージは？



資料などの提供や紹介



現地へ行きたい人へ



ちいさなことからおおきなことまで

わかってはいるけれど、
なにからはじめたらいい？

むずかしそうだしね

そういう方には是非
このガイドブックを！



ひとりではなかなか
できないなあ。



学習会、研修会企画に朗報です！

4月7日、
日本カトリック司教協議会
常任司教委員会がメッセージ
「今こそ武力によらない平和を
— 安全保障関連法の施行にあたって —」
を出しました。あわせてお読みください。
(カトリック中央協議会 HP 掲載)

沖縄に全国の米軍基地の74.46%を押しつけ、負担を強いて苦しめ続けてきたのは本土で暮らす私たちだということを忘れてはなりません。

沖縄を考えることは、
この社会の構造を知る
ひとつの入り口になるはずです。



ご活用ください！

**いっしょに考えてみませんか？
ガイドブックが必要な方はこちらまで**

社会活動センター・シナピス
〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目24-22
TEL:06-6942-1784 FAX:06-6920-2203
E-mail: sinapis@osaka.catholic.jp